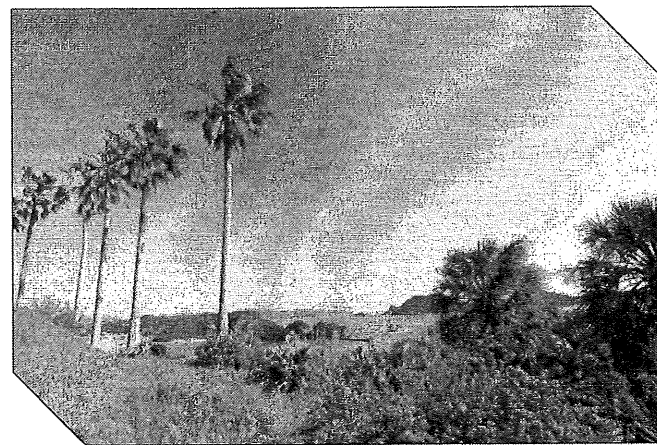


## 第86回憲法と平和を考えるつどい

# 市民と野党の共闘が未来を ひらく — 憲法の生きる市民 社会への展望 —



9条改憲という安倍首相の尽きせぬ野望を打ち砕く決戦のときが近づいています。今国会会期末までに改憲発議を許さず、7月21日投票予定の参議院議員選挙で、改憲勢力を三分の二以下に追い込めば、安倍首相の野望は露と消えます。そして、市民と野党の共闘こそが勝利のための保障です。

市民と野党の共闘は、真実と寛容の立場に基づき、「不寛容なポピュリズム」と闘う世界の広範な人々の一翼を担うものです。安倍改憲を阻止するにとどまらず、憲法の生きる市民社会を展望していくためにも、真実と寛容の旗のもと、市民と野党の結集が求められているのです。

**とき：2019年5月3日(金) 10時00分～12時30分**

**講演 10時～11時30分、質疑・意見交換 11時30分～12時30分**

**ところ：宮崎市民プラザ(4階)・ギャラリー (宮崎市役所前)**

とみだ こうじ

**講師：富田 宏治氏** (関西学院大学法学部教授、  
副学長、日本政治思想史)

**主催：日本科学者会議宮崎支部、宮崎民主法律家協会**

**協賛：憲法と平和を守る宮崎県連絡会、みやざき九条の会、安全保障関連法の  
廃止・立憲主義の回復を求める市民連合みやざき**

◎どなたでも参加できます。なお、参加費として 500円 いただきます。

ただし、大学生・高校生等は無料です。

### 講師プロフィール

1959年生まれ。学生時代より原水爆禁止運動に参加し、2006年より原水爆禁止世界大会起草委員長を務める。大阪革新懇代表世話人。

著書：『「保革」を超え、転形期を切り拓く共同を』(日本機関紙出版センター、2016年)、『核兵器禁止条約の意義と課題』(かもがわ出版、2017年)、『憲法が生きる市民社会へ』(日本機関紙出版センター、2018年)など多数。

### ◎ 5・3 九条守る全国総決起行動 in み やざき (仮称)

5月3日13:30市役所前広場で、集会(30分)後、行進(広場から橋通經由山形屋前交差点)。300人規模。恒例のピースウォークに代わって全国九条の会へのよびかけに応えた企画です。ぜひご参加を!

主催：みやざき九条の会よびかけの実行委員会

問い合わせ先：宮崎中央法律事務所  
(Tel.: 0985-24-8820)